

つるの福祉

TSURUNO FUKUSHI

5月号 May.2022 No.163



特集

「働くをつなぐ」

福祉の視点から見る「就労」



Instagram



You Tube



HP

COVER STORY

都留市社会福祉協議会では様々な機関と連携して日々地域福祉を推進しております。今回は市内の就労支援事業所にフォーカスし、誰にとってもかけがえのない大切な「就労」について福祉の視点からお伝えしていきます。詳しくは P2 よりご覧になれます。

「働くをつなぐ」 福祉の視点からみる「就労」

皆さんにとって『働く』とは何でしょうか？生活のため？お金のため？夢の実現のため？いろいろな思いを持ちながら、皆さん働いていると思います。

都留市社会福祉協議会では、指定特定相談等、障害福祉の相談支援を行っております。これは、障がいの有無にかかわらず、地域で暮らしやすくする支援や福祉サービスを利用するための支援です。その中には就労に『つなぐ』という役割もあります。そして、市内にはそのような就労関係の事業所が沢山あります。

今回のつるの福祉では、地域で一緒に暮らしている障がいのある方々の、『働くとは何か』を福祉の視点から紹介し、皆さんに少しでも知っていただければと思います。



職員：佐野奈美子さん 利用者：藤崎沙弥さん

～自分で選ぶよろこびを大切にする事業所～ 障害福祉サービス事業所 みとおし

みとおしは、知的・精神・身体に障がいのある方など10代後半～60代までの40名が毎日楽しく就労継続支援B型（25名）、生活介護（15名）（多機能型事業所）を利用してあります。主な仕事は、うどんや菓子の製造販売、育苗・農作業、車のパーツや電極板などの部品作業、燃料として使えるペーパーブロックの製造、山梨県産の果実のドライ加工を受託したり、薪割りや清掃などの施設外就労を実施したりしています。



仕事のやりがいについて教えてください！
藤崎さん…羊毛フェルトを使ったコースターやぬいぐるみなど、糸を染めるところから行っています。色合わせがうまくいかない時もありますが、出来上がった時は一番うれしいです。今後は、妖怪のようなものを作ってみたいです。
佐野さん…利用者みんなが楽しそうにしているとやりがいを感じます。また、利用者同士の思いやりや優しさに触れた時に幸せを感じます。利用者がその人らしく、ありのままの姿で生きられるように、職員は伴走者のように支援することを心がけております。

事業所から一言お願いします！

通販サイト「まほらの風」を4月から新たに始める予定です。商品を通して優しい風が伝わるようにという想いを込めました。そちらもチェックしていただきながら、都留市の道の駅やみとおしの事業所にも商品を置いていきますのでお気軽にお立ち寄りください。

～地域と事業所で利用者を支える～

就労支援事業所 チャレンジドリーム



利用者：西室拓哉さん 職員：吉田楓香さん

地域の方と接する機会が多い事業所で、いつも皆さんに協力してもらいありがたいと思っています。今後も、お店を使ってもらったり、リサイクルに協力してもらったり、トイレトペーパーを活用していただければ嬉しいです。

事業所から一言お願いします！

できないながらも支援しながらできるようにしたり、一般就労を目指す方もいて、事業所から巣立っていく姿を見るとうれしいです。

仕事のやりがいについて教えてください！
西室さん…最初は大変だったけれど、アドバースをもらいながら自分で頭を働かせ、早く出来るようになったりするのがうれしいです。

吉田さん…就労に特化した事業所で、初めは

チャレンジドリームは、知的障がい、精神障がいをもつ20代～60代までの26名が通所されています。仕事内容は、古紙回収、カフェ、畑、ゴルフ場の整備、ゴミ焼却会社の清掃など、様々な仕事がある中で、今回は、古紙回収についてご紹介します。
家庭や学校、企業を訪問し、いわゆる雑がみ（古紙）というものを回収しています。その雑がみを製紙会社へ受け渡しトイレトペーパーにしています。このトイレトペーパーは都留市と西桂町のふるさと納税返礼品として扱われ、昨年は千五百件もの返礼品として全国の寄付者にお届けしました。





～皆さん一緒に和気あいあい～

就労支援センター いちごいちえ

就労支援センターいちごいちえは、谷村城下町駅にほど近いところにあります。都留市とその近隣市町村に居住する、10代～70代までの精神障がい、知的障がい、身体障がい、視覚障がい、発達障がい、高次脳機能障がい等をかかえた方が活躍しています。

また、当事業所を利用される方は、福祉サービスの利用者ではありませんが、自らの苦労の体験を通して地域社会に貢献しようと日々努力を重ねています。就職を希望されている方も多く、これまでに5名の方が一般企業に就職しました。

仕事のやりがいについて教えてください！

利用者さん..自分は半年前まで企業で勤務していましたが、現在は離職し無理なく焦らず勤務できる今の環境から再スタートできています。スタッフやメンバーさんと、和気あいあい仕事ができます。

職員さん..できない事ができるようになった時のメンバーさんの笑顔や、一緒に成し遂げた時の達成感はとてもうれしいです。また、事業所に来る楽しみや、メンバーさんから教えてもらえる事も多くあり、やりがいを感じます。

事業所から一言お願いします！

平成22年の設立当初から、食を通じた地域貢献を目標に、豆腐、モモジャム、蜂蜜の製造に取り組み、令和元年に念願であったベーカリー&カフェのお店をオープンしました。

就労している障がい者の方は、パティシエや調理師を目標にパン等の製造から販売、レジ管理、接客等の仕事に取り組んでいます。また、地元の企業様の協力の下で自動車関連部品やマフラー等の製造を行い、いきいきプラザの福祉ショップでは都留市社会福祉協議会様のご協力でおしゃれタオルやコースター等の自主製品を販売しております。

～会話と笑顔が飛び交う事業所～

就労支援センター ピアハウスつる



職員：前田時枝さん 小林沙織さん



利用者：大林剛さん 相澤栄一さん

資料を封筒に入れる作業、水道メーターの分解などを行っております。また、現在コロナのためできておりませんが、以前は、自主製品のマスクやエコバック、EMぼかし(肥料)なども作っていました。

ピアハウスつるは、精神障がいのある20代～60代までの20名が通所されています。仕事内容は、車や家の建具の部品の組み立てや都留文科大学の

仕事のやりがいについて教えてください！
大林さん相澤さん..仲間とスタッフの雰囲気最高に良いです！コミュニケーションを大事にしてくれる事業所なので会話が弾んで楽しいです！

前田さん小林さん..メンバーさんの成長を感じられる瞬間に立ち会えた時はやりがいを感じます。会話に参加していなくても、喜んだ表情が見られるなど、ちょっとした変化が嬉しいのです。

事業所から一言お願いします！

都留市にこのような事業所があることを地域の方々に知ってもらいたいです。そして、企業の方々、お仕事があればお待ちしております。



～社会復帰を目指した支援を～

就労継続支援A型 さくら

さくらの仕事内容は、山中湖のホテル清掃やクローゼットの部品を作る内職をしています。市内外から、知的障がい・精神障がい・身体障がい・発達障がいをもつ14名の利用者が通われています。

このさくらは市内唯一の就労継続支援A型作業所(雇用型)です。今の障がい者支援の在り方について疑問を抱き、社会復帰できる場を作りたいといった思いから事業所を立ち上げるようになりました。

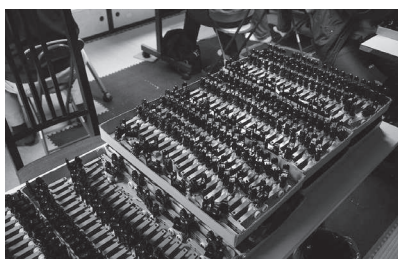
仕事のやりがいについて教えてください！

利用者さん..入った当初より、社会復帰に向けて前進できていると思います。また、前に比べて楽しく生活ができています。

職員さん..利用者が変わることが目に見えてわかることが嬉しいです。

事業所から一言お願いします！
まだまだ地域では、就労という点で充実しているとは言えません。

今後、障がい者雇用など充実した社会になって欲しいと思います。



福祉協議会の取り組み

令和4年度からの新規事業

法人後見事業

認知症高齢者、知的障害者及び精神障害者など意思決定が困難な人の判断能力を補うため、本会が成年後見人、保佐人または補助人となることにより、成年被後見人、被保佐人、被補助人の財産管理、身上監護を行い、その権利を擁護します。

(1) 身上の保護

- ①医療に関すること②住居の確保に関すること③施設の入退所及び処遇の監視・異議申立て等に関すること④介護・生活維持に関すること⑤教育、リハビリに関すること⑥本人の心身の状況に関する見守りを行います。

(2) 財産管理

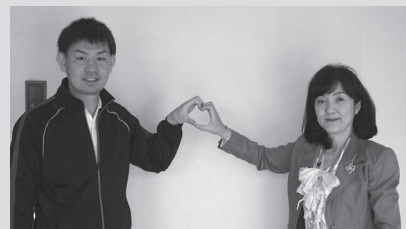
- ①印鑑や貯金通帳の保管、管理②預金、株式等の金融資産の管理③不動産の維持、管理④保険金や年金などの受領⑤必要な経費（公共料金など）の支出⑥生活資金捻出のための動産及び不動産の処分⑦「遺産分割協議」、「遺留分減殺請求」などの法律行為を行います。

(3) 家庭裁判所への報告

- ・成年被後見人等の資産や収入等の調査を行った上、「財産目録」及び「収支予定表」を作成し報告します。
- ・適時（通常は1年に1回程度）成年被後見人等の生活状況や財産状況について報告します。

(4) 法人後見運営委員会の設置・開催

法人後見業務の実施にあたり、受任の適否の判断、法人後見業務の指導を行い、適正な法人後見業務を担保する目的のため法人後見運営委員会を設置し、開催します。



生活困窮者自立支援事業

現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方が、困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状況に応じた包括的かつ継続的な相談支援等を行います。

(1) 自立相談支援

生活や仕事に対する心配や悩みを抱えている人に対して、地域において自立した生活が行えるように無料で相談に応じ、その人が抱える様々な問題に対応します。

(2) 一時生活支援

住居のない生活困窮者に対して、一定期間衣食の提供を行います。

(3) 住宅支援給付業務

離職や廃業またはやむを得ない休業により収入が減少し、住宅の事で困っている人に対して住宅確保給付金を支給します。



養育支援訪問事業

子育てしやすい環境の構築を図るため、家族等の援助が受けられない子育て家庭等に対して「子育て応援ヘルパー」を派遣し、育児や家事を援助します。

(1) 対象者

市内に居住する妊婦、産婦、乳児（概ね1歳までの乳児）のいる家庭で日常生活を営む上で、育児・家事支援等を必要とする家庭

(2) 利用日数

月に10回を限度（1日1回、1回当たり2時間以内） ※利用は1時間単位

(3) 利用者負担額

- ・生活保護世帯又は住民税非課税世帯 無料
- ・上記以外のひとり親世帯 200円/1時間
- ・その他の世帯 500円/1時間

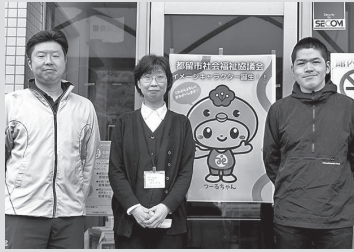
写真

令和4年度都留市社会

「みんなが主役 みんなで福祉のまちづくり」の実現に向けて

居宅介護支援事業

可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営む事が出来るように配慮し、利用者の選択に



基づき、適切な保険医療サービス、福祉サービスが、多様な事業所から総合的かつ効率的に提供されるよう、公正中立な居宅支援を行います。

訪問入浴介護事業



要介護状態にある高齢者に対し、適正な指定訪問入浴介護を提供します。

訪問介護事業



入浴・排せつ・食事の介護その他の生活全般に渡るサービスを行います。

ささえあいホットサービスつる



日常生活で困った時に地域の中でお互いに支え合う住民参加型有償在宅福祉サービスを実施します。

生活支援体制整備事業



いつまでも住み慣れた地域で元気に暮らすことができるよう、地域の支え合い活動を基盤にして、地域で高齢者の生活を支える体制づくりに取り組めます。

老人クラブ



高齢者の生きがい活動、健康づくり活動、仲間づくりなど、多彩な活動を進める老人クラブ活動を事務局として支援し、高齢者が中心となって地域で支えあう基盤づくりを進め、安心して暮らせるまちづくりをすすめます。

障害者等相談支援事業



障害者等から、福祉に関する各般の問題についての相談に応じ、必要な情報の提供並びに助言その他の障害福祉サービスの利用支援等必要な支援を行います。

虐待の防止及びその早期発見の為の関係機関との連絡調整、その他の障害者等の権利擁護のために必要な助言を行います。

ボランティア連絡会



ボランティア間の連絡、情報交換を行い、円滑なボランティア活動の推進と地域福祉活動の進展に寄与することを目的とする都留市ボランティア連絡会の運営を支援します。

福祉教育推進事業



学童・生徒の福祉・ボランティアに対する関心を高め、様々な体験活動を通じて社会連帯・ボランティア精神・福祉のこころを醸成するとともに、子どもたちを通じて家庭や地域へ啓発を図ります。

赤い羽根共同募金



「じぶんの町を良くするしくみ。」として、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援します。

善意銀行

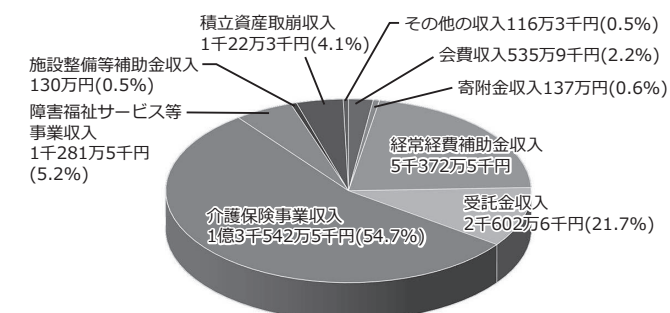


個人、企業及び団体等からの善意（金品、労力、技術）の預託・払い出し預託者の受託者（奉仕を求める者）との連絡調整を行います。

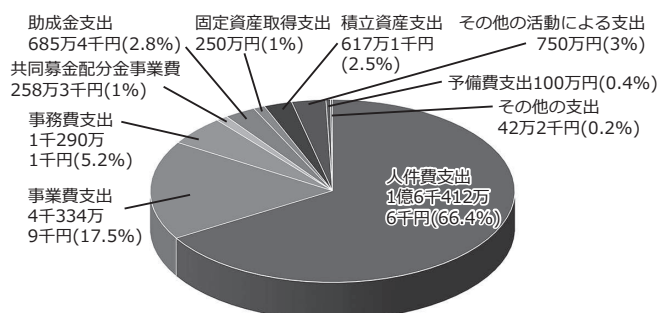
その他の事業は社協のHPをご覧ください。

令和4年度当初予算

収入2億4千740万6千円



支出2億4千740万6千円



会員会費ご協力のお願い



あたたかい福祉のまちづくりのために、社協会費納入のご協力をお願いいたします。

社協の会費は、事業計画に掲げる住民主体の福祉活動を推進するため、また、各種事業が住民の参加、助け合いによって進められるために欠くことのできないものです。

この会費には次のようなものがあります。

- (1) 一般会員会費（1世帯年額700円）各地区自治会を通して市民の皆様からいただく会費
- (2) 特別会員会費（1口年額3,000円）社会福祉関係団体、地域民生委員協議会、民間福祉施設
- (3) 賛助会員会費（1口年額3,000円）学識経験者、篤志家、会社及び団体

6月に各自治会長を通して、各世帯から一般会費の納入、8月から特別会費及び賛助会費の納入のお願いをいたします。福祉の充実に向け、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

厚生労働大臣表彰受賞報告

～手話&ステップ ニュークレイ様が受賞されました～

令和4年2月3日、令和3年度ボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰受賞に伴う受賞報告を都留市長に行いました。

この表彰は、福祉分野等のボランティア活動を長年率先して行っている方々に送られる表彰であり、令和3年度は手話&ステップ ニュークレイン様が受賞されました。

手話&ステップ ニュークレイン様は平成8年より、手話ダンスを通じて、多くの方に生きる喜びと感謝を体験してもらうボランティア活動を継続して実施し、楽しさと感動を与えています。受賞おめでとうございます。



代表：長谷川秋子さん 都留市長：堀内富久様

第40回都留市社会福祉大会

～37名13団体の皆様が受賞されました～

令和4年2月25日、都の杜うぐいすホールにて、第40回都留市社会福祉大会を開催しました。

この大会は、社会福祉の発展に功績のあった方々及び団体を表彰し、感謝の意を表することを目的に開催しております。新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で、表彰式のみを行いました。受賞者の皆様、おめでとうございます。



厚生労働大臣表彰

○ボランティア功労（団体）
手話&ステップ ニュークレイン

山梨県知事表彰

○社会奉仕活動（個人）
滝口ちさ子、竹俣吟子、

竹俣忠洲、谷内正章、山田静

○社会奉仕活動（団体）
ガールスカウト山梨県第10団、

コスモスアカデミー、ザ・ペッツ、
ボランティアクラブ和

○老人クラブ活動（個人）
高部成一

山梨県社会福祉協議会会長表彰

○民間社会福祉施設役員
佐藤照美、幡野恵美子

○ボランティア活動（個人）
梅谷正典、小林和美、三枝昭子、

三枝忠之

○ボランティア活動（団体）
琴の音会

山梨県老人クラブ連合会会長表彰

○老人クラブ活動（個人）
池内源一

都留市市長表彰

○民間社会福祉事業施設役員
酒井啓行、渡邊友美

○ボランティア活動（個人）
内野珠美、渡邊尚美

ボランティア活動（団体）

○NPO法人日本車椅子レクダンス
協会大月支部、エレキ大正琴だ
んだんの会、おしどりの音楽会、

はつらつ学園学級、ビリーヴ、
フラ・オ・ケアラ、ブラウンライス

○老人クラブ活動（個人）
小俣文子、水越洋

都留市社会福祉協議会会長表彰

○民間社会福祉事業施設役員
板倉勇、岩村亜希、米山園美、

渡邊怜那

○ボランティア活動（個人）
井上和彦、谷内種次

○ボランティア活動（団体）
NPO法人にこ研親子のえがお

研究クラブ、男声合唱団コール
ベア

○老人クラブ活動（個人）
菊地信夫、小石澤榮子、小林和明

都留市社会福祉協議会会長感謝状

○金品寄附（個人）
天野清吾、澁澤栄一、依田康和

○金品寄附（団体）
公益社団法人大月法人会、
リフォームボランティア

都留市老人クラブ連合会会長表彰

○老人クラブ活動（個人）
芦澤映子、庄司榮一、内藤公義、

中笠つね子、藤沼昭平、村上栄一、
渡邊義文

（敬称略）



移動スーパーはじ丸（公正屋委託販売事業） 地域の買い物弱者問題について考える

「買い物弱者」という言葉をご存じでしょうか。

農林水産省では、「高齢化や単身世帯の増加、地元小売業の廃業、既存商店街の衰退等により、過疎地域のみならず都市部においても、高齢者等を中心に食料品の購入や飲食に不便や苦勞を感じる方」を買い物弱者と定義しています。また、経済産業省の調査によると買い物弱者は全国に700万人以上いると推計されています。

このような状況の中、家の近くまで訪問してくれて買い物ができる、移動販売の取り組みが地域での生活に役立っていると注目されています。そこで今回は、地域の買い物弱者問題について移動販売を中心に考えました。

地元のスーパーで8年間店長をしていた谷川竜一さんは、高齢の利用者から「足腰が弱くなつて歩けない」、「免許を返納すると買い物にいけない」、「重い物を持って帰れない」などの声を聞き、移動販売の必要性を感じていたといえます。

定年が近くなり、今後のライフプランを考え始めた頃、勤務先が以前行っていた宅配事業を再開するため人材を募集していることを知り、谷川さんは一念発起して独立。勤務先だったスーパーと連携して、「来て、見て、触って、楽しんで」をモットーに、買い物弱者の地域生活を支える、移動スーパーはじ丸を始めたそうです。

谷川さんは「利用者宅の玄関先まで行って、自分の目で見て、触って、楽しんで買い物をしていただいています。扱っている品目は400品以上あります。利用者の要望に沿ってお買い物をさせていただいています。また、利用者は70〜80代の高齢者がほとんどです。男性も買い物に来ますが、女性が多いです。定期的に訪問しているので、利用者の健康状態も心配になります。」利用者も多くは一人暮らしの高齢者。女性の利用者は買い物



移動スーパーはじ丸
谷川竜一さん



デイサービスの職員さんと一緒に買うものを選ばれています。

中に、会話を楽しめる方も多いそうです。一方男性はサッと買っただけで帰ってしまわれることもから男性高齢者の買い物問題が垣間見えます。

また、玄関先まで訪問することにより、足腰が弱い方も安心して買い物をすることができそうです。重い物を持つことが大変な方には、購入された品物を運ぶこともあるといいます。

そして必要なものを必要な分だけ、一人ひとりの買い物ニーズに沿って品物を揃えて、利用者を選んでもらうことを谷川さんは大切にされています。移動販売には、高齢者の見守りの役割も期待されています。

谷川さんは地域のデイサービスにも訪問しており、取材時に、デイサービスの利用者に移動販売について聞いたところ「いろいろ見られて楽しい。」など、自分で買いたいものを選ぶことが楽しいという声を聞きました。

移動手段がなくなったり、要介護状態になると、自分で買い物に行くことが難しくなります。移動販売は、買い物をして楽しむという「生きがいの場」にも繋がっています。

買い物弱者の問題には、単身

高齢者の増加、虚弱高齢者の増加、身近な商店の減少、公共交通機関の衰退、高齢者の運転免許証の返納、家族や地域との関係性の希薄化など、さまざまな要因があるといわれています。都留市でも、高齢単身世帯、高齢夫婦世帯の割合が年々増加しています。このことから、買い物支援のニーズは今後、ますます高まっていくことが考えられます。

今回の取材を通して、都留市の地域の特性やニーズに応じた、多様で持続可能な買い物支援の仕組みづくりに取り組む必要性を感じました。

都留市社協では、高齢者を支える地域の活動情報を募集しています。

散歩、お茶のみ、サロン、買い物支援、趣味、スポーツ、行事など、ささえあい活動を生活支援コーディネーターが地域の「お宝」として取材しています。

連絡先 都留市社会福祉協議会
電話 46-51115
担当 飯島



自分で買うものが
選べる楽しみ

善意銀行

(令和4年1月から3月受付)

- **ペットボトルキャップ**
佐藤ちどり、カタタ商事(株)、松川和夫、佐藤育子、山谷花子、チャレンジドリーム、板倉圭子、JR東海、都留市グラウンドゴルフ協会、山口利美、美歩・香歩、深泉院、中小野福祉推進委員、中小野婦人クラブ、中小野老人クラブ、真心の里職員一同、梶原晴代、食生活改善推進委員三吉地区、むつみの家、坂田ひろみ、幡野和子、川茂保育園、水庭初枝、清水ふじ江、都留文科大學地域交流研究センター、ガールスカウト第10団、小林正宣、コニカミノルタメカトロニクス(株)都留事業所、都留郵便局、たがい立て合い助け合いの会35kg、里吉洋6kg、秋山正20kg
- **プルタブ**
都留市ターゲットバードゴルフ協会、松川和夫、山谷花子、真心の里職員一同、梶原晴代、生活改善推進委員三吉地区、坂田ひろみ、いーばしよ与縄、清水ふじ江、牛田幸子、コニカミノルタメカトロニクス(株)都留事業所、都留文科大學付属小学校15kg、禾生第二小学校11・5kg、たがい立て合い助け合いの会21kg
- **古切手**
都留市野球連盟、たがい立て合い助け合いの会
- **座布団25枚**
おちゃんこクラブ
- **白タオル多数**
小俣
- **聞いて楽しむ日本の名作(CD全16巻)**
高橋富士雄
- **【寄付金】**
1,382円
都留市はつらつ鶴寿大学
13,483円
YBC (敬称略)

※ペットボトルキャップ、プルタブ以外の寄付物品については受け渡し先の確認があるため、事前にお問い合わせ下さい。
※ペットボトルキャップ、プルタブは事前に洗ってお持ちください。

赤い羽根共同募金運動 結果最終報告

赤い羽根共同募金は、民間の運動として戦後直後の1947年(昭和22年)に、市民が主体の活動としてスタートしました。

共同募金運動は自治会や地域福祉に関わる諸団体の協力と地域住民の参加により、活発に運動が繰り広げられ、令和3年度は、合計4,973,106円の募金が集まりました。(運動期間令和3年4月1日～令和4年3月31日)

集まった募金の約7割が都留市の地域課題解決のために使われ、残りの約3割は、山梨県内の広域的な課題を解決するため、福祉施設等に配分され使われます。

また、大規模災害が起こった際の備えとして、各都道府県の共同募金会では募金額の一部を「災害準備金」として積み立てています。この積み立ては、災害ボランティアの活動支援など、被災地を応援するために使われています。

◎家庭募金	1,322,612円	◎街頭募金	15,724円	◎大口募金	1,145,116円
◎職場募金	400,539円	◎特殊募金	532,576円	◎自動販売機募金	20,139円
◎地域募金	1,036,400円	◎歳末たすけあい募金	500,000円		
合計 4,973,106円					

ご協力くださいました皆様、ありがとうございました。

写真

総合相談所カレンダー

☆心配ごと相談(簡裁法律相談)要予約

生活上の困りごとや悩みごと、また、相続・契約・金銭貸借・消費者金融・成年後見・離婚問題ほか法律に関する相談をお受けします。

相談時間：午後1時～4時

相談員：山梨県司法書士会、

司法書士総合相談センター所属司法書士

相談場所：都留市下谷2516番地1 いきいきプラザ都留2階

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、相談については電話での対応となることがあります。

☆一般相談

日常生活での様々な困りごと、悩みごとの相談を社会福祉士・精神保健福祉士がお受けします。電話相談と杜協窓口相談を受付けており、匿名での相談も可能です。相談内容は厳守されます。専門的解決を要する内容には、より適切な相談窓口を紹介しています。

相談日時：毎週月曜日から金曜日(祝日は除く)午前8時30分～午後5時15分

相談場所：都留市下谷2516番地1 いきいきプラザ都留2階

◆問合せ先：都留市社会福祉協議会 電話 46-5115 ◆

写真

生活福祉資金(緊急小口資金・総合支援資金)特例貸付 ～申込受付は6月末まで～

山梨県社会福祉協議会では、新型コロナウイルス感染症の影響による収入の減少や失業等で生活資金にお困りの方々に向けた、緊急小口資金・総合支援資金「初回」の特例貸付の申込みを令和4年6月末まで受け付けています。詳しくは山梨県社会福祉協議会のホームページをご確認いただくか、お住まいの市町村社会福祉協議会にお問合せ下さい。

- ☐ **緊急小口資金** (主に収入が減少となり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯向け)
貸付上限額：20万円以内
- ☐ **総合支援資金** (主に失業された方等で、生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯向け)
貸付上限額：(二人以上世帯) 月20万円以内 (単身世帯) 月15万円以内
貸付期間：原則3月以内

【申込み方法】 原則郵送 窓口での申込みを希望される方は事前にご連絡ください。

ボランティア活動助成金

誰もが住みよい福祉のまちづくりを進めるため、地域の中で自主的に活動し、都留市ボランティアセンターに登録しているボランティア団体・グループに対して、助成金を交付します。

【助成の対象】

- 都留市に活動拠点を置き過去1年以上に渡り、以下の事業を行うボランティア団体・グループ
- (1) 在宅福祉の普及、向上を図る事業
 - (2) 健康、生きがいづくりを推進する事業
 - (3) 地域の保全を図る事業
 - (4) 子どもの健全育成を図る事業
 - (5) その他社会福祉の向上に資する事業

【助成金の額】

1団体当たり5万円を上限とする。ただし、助成金総額は本協議会の予算の範囲内とする。

【助成対処となる経費】

助成事業に直接必要となる経費で、当該年度末までに経費資質が完了するものに限る。
(例) 講師謝礼、会議時における茶菓子代、飲料代、印刷費、郵送代、消耗品費、車両燃料費など
※団体構成員の報酬、家賃、水道光熱費、宴会費等は対象外となります。

【助成申請期間】

令和4年5月2日(月)～7月29日(金)まで

ボランティア活動保険 ～特定感染症重点プランを新設しました～

新規加入の場合、従来の補償プランでは補償開始日から10日以内に発病した特定感染症については補償の対象となりませんでしたが、補償開始日から補償の対象となる特定感染症重点プランを新設しました。

加入プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン 
保険料	350円	500円	550円

補償期間

令和4年4月1日午前0時から令和5年3月31日午後12時まで中途加入の場合は、加入手続き完了日の翌日午前0時から令和5年3月31日午後12時までとなります。

補償内容

ボランティアがボランティア活動中の急激かつ偶然な外来の事故により他人にケガを負わせたり、他人のものを壊した事等により法律上の損害賠償責任を負わされた場合に保険金をお支払いします。

なでしこ基金ご協力をお願い ～地域に困っている方がいます～

新型コロナ感染拡大は、社会的に弱い人の暮らしを直撃しています。
中でも、特に「生理の貧困」(不可欠な生理用品が利用できない状況にあること)をなくそうと活動を始めました。
「生理の貧困」状態にある市内の女性(学生含む)が心身ともに健やかに生活できるように、生理用品の無料配布を行っています。基金へのご協力をお願いします。

募金額：1口 1,000円

不要になった生理用品を集めています。
社会福祉協議会にお届けください。

募金についてのお問い合わせ及び生理用品が必要な場合は下記までご連絡ください。

「なでしこ基金プロジェクト」 清水 090-2220-0442

令和4年度手話奉仕員養成講習会(入門・基礎編) ～受講者募集～

地域住民を対象に、聴覚障害者を正しく理解し、基礎的な手話を習得することを目的に標記講習会を開催致します。

○主 催 都留市社会福祉協議会

○日 時 令和4年5月23日～令和4年9月26日 入門編(19回)

令和4年10月3日～令和5年3月13日 基礎編(22回)

毎週月曜日 午後7時から9時

※月曜日が祝日の場合は翌火曜日実施

○会 場 いきいきプラザ都留 3階 研修室

○対 象 者 一般住民ならびに学生12名

初心者、本講習会受講経験者(2年目までの方とする)

○参 加 費 無料

○申し込み 令和4年5月16日(月)迄に都留市社会福祉協議会宛に申し込んでください。

電話 46-5115 (受付時間 8:30～17:15)

写真

※今後の新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、延期又は中止となる可能性がございますのでご了承ください。

※新型コロナウイルス感染症対策として受講時に透明衛生マスクの配布をその都度行います。

未来に×^{かける}橋プロジェクト第2弾！男性のためのボランティア入門講座 「共同菜園ボランティア^{はたらき}畑楽もん」

未来に×^{かける}橋プロジェクト第2弾！男性のためのボランティア入門講座「共同菜園ボランティア^{はたらき}畑楽もん」の活動が4月より始まりました！！

畑楽もんとは、無償でお借りした休耕地を使い、男性のボランティアの方々が自主的に共同菜園運営を行って、子ども食堂などの支援にかかわることで、閉じこもり防止・孤立防止・社会参加の3つを実現できる仕組み作りです。

3月17日には、野菜づくりができる土にするため、休耕していた畑を都留市社会福祉協議会の職員で耕しました。活動の様子を随時インスタグラムやYouTubeで発信していきますので、ぜひチェックしてくださいね！

畑楽もん第2クール(夏から秋頃)の入門講座も企画予定ですので、詳しく知りたい方は、お気軽に都留市社会福祉協議会(46-5115)までお問い合わせください。お待ちしております。



「畑楽もん」
YouTube
QRコード

かける **未来に×橋プロジェクト第3弾** **「ボランティアと笑顔」フォトギャラリー開催**

「ボランティアと笑顔」をテーマとしたフォトギャラリーを開催いたします。
皆様からたくさんのご応募お待ちしております。ぜひお気軽にご参加ください。

- ①募 集 通年
- ②掲示期間 原則1年間
- ③掲示場所 都留市社会福祉協議会ボランティアロビー内
- ④募集要件 都留市でボランティア活動を行っている方であれば誰でも参加可能
- ⑤募集方法 社会福祉法人都留市社会福祉協議会のメールまたはInstagramのDMに写真データ（横画角）と写真のタイトル、氏名を添付
- ⑥募集内容 ボランティアと笑顔に関する写真
- ⑦問い合わせ・申込先 社会福祉法人都留市社会福祉協議会（46-5115）
メール：tsuru-shakyo@sage.ocn.ne.jp インスタグラム：https://www.instagram.com/tsurushakyo/



山梨県シルバー作品展

県内各地で開催された高齢者作品展（審査会）において、代表となった優秀作品の展覧会が開催されます。

都留市からは、9点の作品が展示されます。会場は甲府市の県立図書館です。

優秀作品として都留市から出品される方は次のとおりです。

- 書 の 部 奥脇 勝則
- 洋画の部 内藤 敏和 清水 克彦 秋山 秀子
- 工芸の部 堀越 裕江 羽田久良子 花田 房子
- 写真の部 羽田久良子 藤本 紘一

日 時 6月17日（金）～19日（日）

会 場 山梨県立図書館（甲府市）

※なお、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、一般公開が中止となる場合があります。



ゲートボール大会

第42回ふれあいゲートボール大会を開催します。

この大会は9月24日に予定されているいきいき山梨ねんりんピック2022・山梨県シニアゲートボール大会の予選会として開催します。メンバーが市内の方なら、合同チームでも参加できます。

本大会の上位2チームが県大会に出場できますので、ふるってご参加ください。

- 主 催** 都留市老人クラブ連合会
- 共 催** 都留市ゲートボール協会
- 日 時** 6月2日（木）雨天の場合は3日（金）
- 場 所** 小形山・大輪スポーツ広場
- 参加資格** 60歳以上
- 参 加 費** 1チーム 2,000円
- 申込締切** 5月20日（金）



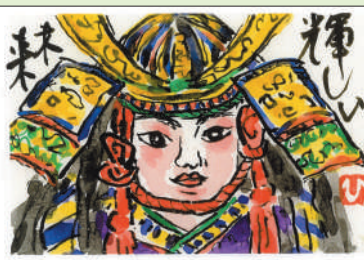
問合せ先 都留市老人クラブ連合会事務局 46-5115



「幸せいっぱい」三森栄子 作

絵手紙特集

「四季彩の絵手紙教室」



「端午の節句」志村ひさ子 作



「スヌーピー」小林みね子 作

「それぞれの美しい花が咲き」「日本の四季って素晴らしいなあ……」から始まり、四季彩の絵手紙教室がYLO会館にて発足しました。それから二十数年の年月が流れ在籍者二十名程和やかな楽しい教室である。昨年は「筆の里ありがとう大賞」「西嶋和紙の里公募」皆素晴らしい成果を挙げました。

これが本当の生涯学級ではないでしょうか？「へたがいい……へたでいい……」のです。誰でも出来ます。興味のある方は始めてみませんか。

代表 志村ひさ子（電話43-5805）